京の数え唄（東西）　2

本調子

中	上	上	中	上	上	中	○	老	○	上	○	老	乙	老	○
上	上	上	中	上	中	上	老	老	老	○	中	中	中	中	上	中	上	老	○
○	中	上	上	中	上	中	上	老	○	上	上	上	中	上	中	中	中	中	○
中	上	上	中	老	老	老	中	中	○	中	上	中	上	上	上	上	中	上	老	○
中	上	上	上	中	上	上	中	上	上	上	中	○	老	○	上	○	老	乙	老	○

まる　たけ　えびす　に　おし　おいけ　　あね　さん　ろっ　かく　たこ　にしき

しあや　ぶっ　たか　まつ　まん　ごじょう　　せった　ちゃらちゃらうお　のたな

ろく　じょう　さん　てつ　とお　りすぎ　　ひっじょう　こえ　れば　はち　くじょう

じゅう　じょうとう　じで　とど　めさす

一、丸竹夷ニ押御池
　姉三六角蛸錦
　四綾仏高松万五条
　雪駄ちゃらちゃら魚の棚
　六条三哲とおりすぎ
　七条こえれば八九条
　十条東寺でとどめさす

二、坊さん頭は　丸太町
　つるっとすべって　竹屋町
　水の流れは　夷川（えべすがわ）
　二条で買うた　生薬（きぐすり）を
　ただでやるのは　押小路
　御池で出逢うた　姉三（あねさん）
　に
　六銭もろうて　蛸買うて（たこうて）
　錦で落として　四かられて（しかられて）
　綾まったけど（あやまったけど）
　仏仏と（ぶつぶつと）
　高（たか）がしれてる　松（ま）どしたろ